

だんだん便り

発 行：一般社団法人だんだん会

責任者：宮崎和加子

第 67 号 2023 年 5 月 10 日



ヤマナシの花の下で

八ヶ岳南麓のまきば公園に咲く「ヤマナシ」の花です。秋に 2~3 センチぐらいの梨のような実を付けますが幸水や 20 世梨などは、このヤマナシから改良されたものだそうです。

八ヶ岳仙人

グループホームわいわい白州・尾白



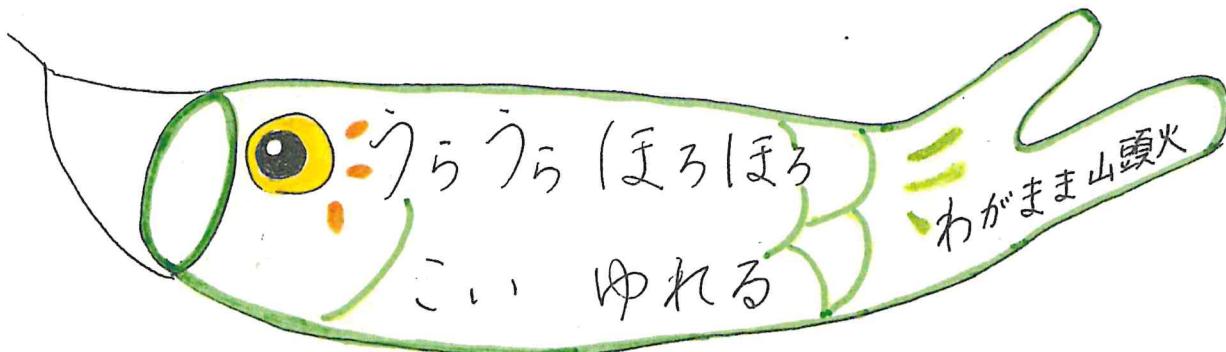
お花見！



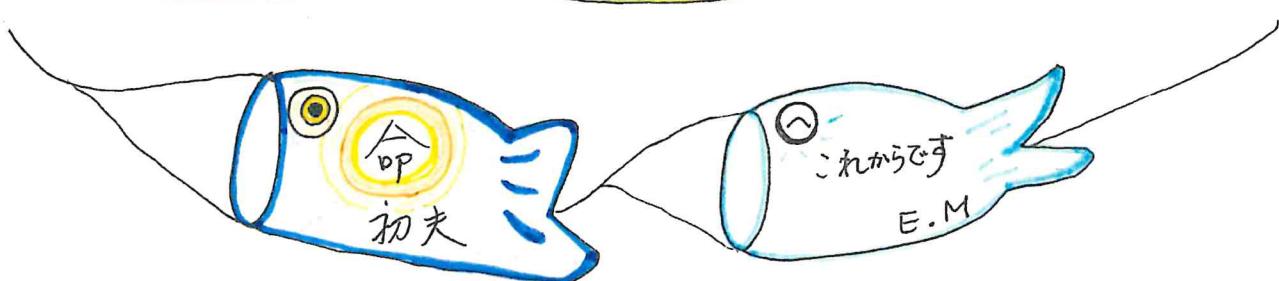
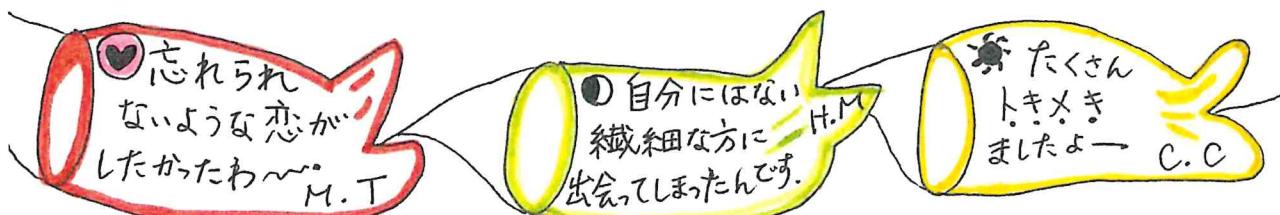
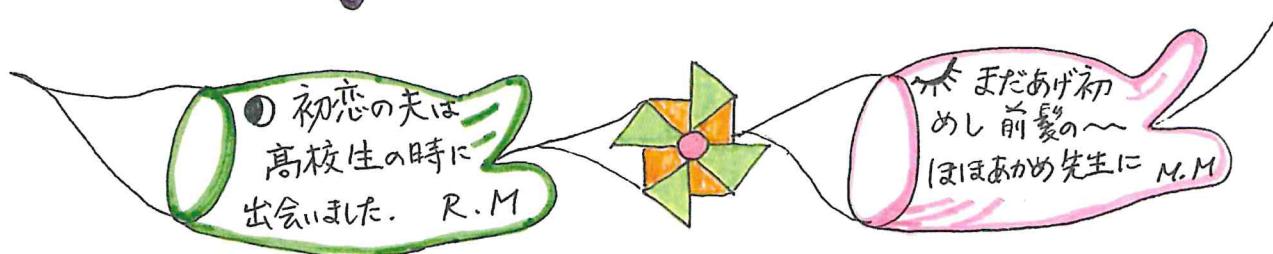
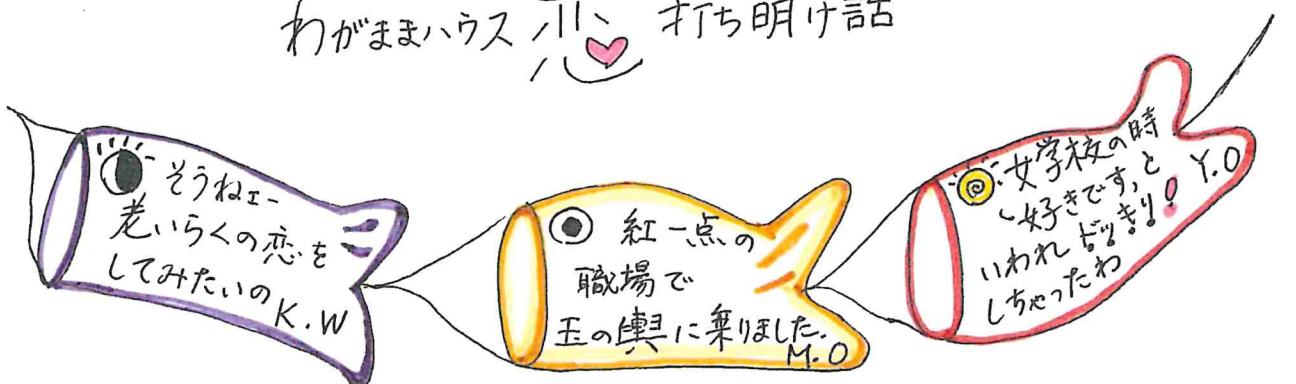
今年の桜は開花が早く、途中で雨・風もはさみ、
わいわい白州の中庭で、昼食を食べ、乾杯もしながら
(ドイツオクトーバーフェストの様に?!)楽しみました!!

わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

今回は、入居者の方に、『恋の打ち明け話』をお聞きしました。“まあ、なんて素敵な恋！”
“ええっ、これからですか。そうですよね”



わがままハウス 恋 打ち明け話

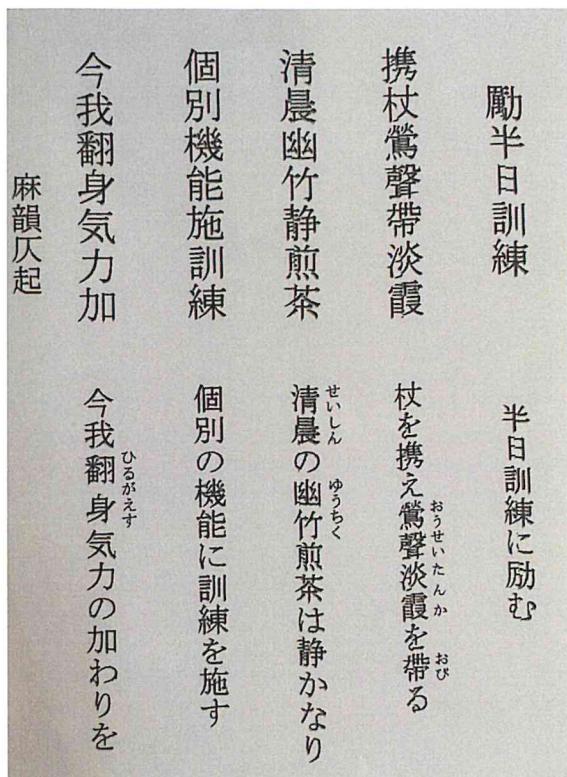


(スタッフ：三宅映子)

「リハ特化半日テイるんるん」

～るんるん文芸部 第4弾～

新緑の美しい季節になりましたね。るんるんの窓から見える外の景色も、日に日に緑が増え心地良いなと感じます。少し前のことにはなりますが、春の木漏れびの中、ウグイスの鳴き声も聞こえてきました。るんるんのご利用者様がそんな情景を詠んでくださったので、るんるん文芸部第4弾と題してご紹介します。



ご夫婦でご利用中の方が、るんるんでウグイスの初音を聞いて詠んで下さいました。

漢詩を嗜まれている方もいらっしゃいます！



しのびて
夕日かなしき
筆をとる人に
梅の一枝

昔日に

昔、熱海の梅園に旅行に行かれた際に詠んだ思い出の句だそうです。

オレンジサロンわいわい白州・長坂

令和5年度の活動がスタートしました！

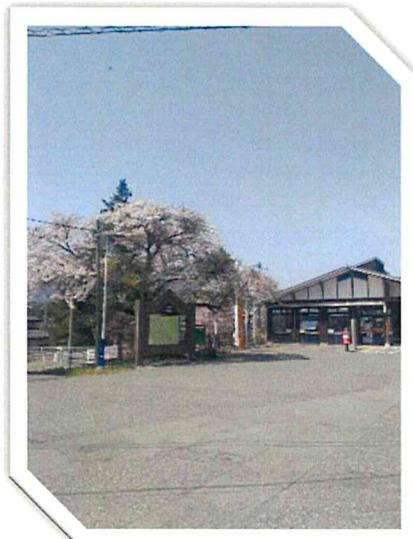


今年の春は、梅・さくら・もも・モクレン・こぶし・芝桜・つづじ等・牡丹まで……一気に咲き誇り、見事に百花繚乱！

桜の花を、眺める暇もなく…いつの間にか「葉桜」になつたよ！と。

そこで

慌てて外に出かけました。



北杜の桜の見ごろは終わり、隣町の
「信濃境駅周辺」まで出かけて来ました。

コロナ禍で必要最低限の外出をしてきた、この間でした。久し振りに気分が解放され、前向きな気持ちが生まれ、皆さんいい気分です。お腹もすきました！圧巻の「鯉のぼり」にも感動でした。



とにかく 職員募集！！

定期巡回てくてく24 管理者 西室徳子



次の目標に向かって頑張って！！

20歳で資格を取ったばかりのみなみさんが『てくてく』に就職して早4年。このたび次の目標に向かって飛び立つことになりました。いなくなることは寂しいのですが、『がんばれ！！』という気持ちでいっぱいです。

介護は全く初めてというみなみさん。先輩に手取り足取りの指導を受け、素晴らしい成長を遂げました。どの利用者さんのお宅でも「いい人が入ったわね。素直でかわいくて、今時珍しいいい人ね」と評判でした。

難しい利用者にも「頑張ってみます！」と果敢に挑戦。ターミナル(終末期)の利用者さんにも愛されました。

みなみさんの成長を見て、私たちほかの職員も大いに勉強になりました。“私たちの職場は、若手の新人でも立派に成長できることを応援できる！”と確信しました。

介護職員大募集です！

若手の職員の皆さんもぜひ！

送り出しの日。職員全員集合できず、開設当初からのベテランの高瀬さんも仕事中で写真に写らず、ごめんなさ～い

介護はやりがいのある仕事

最初は、しんどいこともつらいこともあります。でも4年間やってみて、“やりがいのある仕事だ”と思いました。しんどくても4年間続けられたのは、先輩職員の助けと温かさと職員同士のコミュニケーションの良さだと思います。

実は今回、次の目標に挑戦してみることにしました。小学生の時からやってみたいと思った仕事があったのです。介護福祉士の資格を取得したのをきっかけに(いつでも介護の世界に戻ってこれる…)やってみます。

そのうち、またお世話になるかもしれません、その時にはどうぞよろしく！

4年間、ありがとうございました。

地域看護物語

新体制になりました！

地域看護センターあんあん 管理者(所長) 内田 優実



地域看護センターあんあんは今年の2月で7年目に入りました。

4月より管理者交代となり、ベテランで個性豊かだった浅見さんが退職し、4月より新体制になり、内田優実が管理者を務めることになりました。看護師6名、理学療法士1名、作業療法士1名の新生チームで頑張っています。

スタッフは30代、40代、50代、60代、70代と幅広い年代のメンバーです。これまでの経験や知識や技術、感じることや大切にしたいことなど様々です。日々の訪問は1人で行いますが、事務所に戻ってからはスタッフ間で話をするの大にしています。ひとりひとりの力は小さくても、スタッフそれぞれが持っている力を出しあうと、大きな力となることを実感しています。また、利用者さんを理解するには一方方向からではなく、多くの人の見方を混ぜ合わせる必要があることも実感します。

これからもあんあんはチーム一丸となり、「自分らしく生きる人生」の応援団として最高の支援ができるよう努めて参ります。他事業所と連携し一つのチームとなり、北杜の方々のお力になれるよう頑張ってまいります。

エッセイ・随想・雑感・・・

「移住者と地元住民が協働するまちづくり」のための

アンケート調査のお願い

八ヶ岳ふるさと俱楽部 佐藤彰啓

2000

私たちの「八ヶ岳ふるさと俱楽部」は、都会からの移り住む人々の“ゆるやかなネットワークの会”(2000年7月設立。会員数320世帯)で、「地域の自然と文化を学び合う」「農と手づくりに親しむ暮らしづくり」「知縁を生かした仲間づくり」をモットーに、山の会、テニス、園芸、写真…などの同好会活動や文化祭、季節の行事などを通して、地域での充実した暮らしをするための活動を行っています。

これから大きな課題は、高齢化が進む中で健康を維持し、お互いに助け合いながら“如何に人生最後まで充実して生きる”ことができるかどうかということです。それにはだんだん会のような取り組みと個々人の助け合いが結びつく地域社会の実現です。

今、私たちは、八ヶ岳山麓がこれからも住みやすくするために、移住者を対象にしたアンケート調査を行なっています(実施期間4月15日～6月30日)。それは次のような趣旨によるものです。

この20数年来、八ヶ岳山麓にはその自然環境を求めて都会から多くの人びとが移住してきています。一方、少子高齢化と農山村の過疎化は、この地域にも地元人口の減少をもたらし、地域における移住者の比率は年々高まっています。八ヶ岳山麓を東西に走る広域農道(レインボーライン)より上は、地元人口より移住人口の方が多く、またそれより下でも農家の空き家が増えています。

北杜市的人口は46,378人(2022年)。この10年間の人口推移は、転入者17,120人(年平均1,712人)、転出者は年平均1,526人(その多くは地元の若者の進学・就職と思われる)で、毎年177人前後の転入超過となっています。しかしながら自然人口増減で、出生者年平均224人、死亡者年平均678人で年間454人自然減となり、その結果人口合計は、毎年+177人転入超過、自然減-454人で377人の人口減少となっています。転入者により大幅な人口減少をどうにか留めているといえます。いずれにしても、この10年間で転入者17,120人は、人口46,378人に対して約3割のウエートを占めることになります。

このアンケート調査は、北杜市オオムラサキセンター跡部館長からの「これから南麓地域には移住者と力を合わせていくことが欠かせない。地元の人は移住者がどのように考えているか知りたい。そのためのアンケート調査ができるだろうか」の提案からはじめました。「移住者と地元住民が協働するまちづくり」をテーマとして、移住者自身が自分たちの暮らしを見つめ直し、また地元の人たちにも、それを知ってもらって両者がより魅力的なまちづくりの動機付けを目的としています。

集計結果は行政や地元マスコミなどに情報提供を行い、八ヶ岳山麓のまちづくりに役立てていきます。

なお、アンケートは「チラシ」の通り、スマホもしくはパソコンで約15分程度で簡単にできます。

一般社団法人だんだん会

〈長坂事務所〉 山梨県北杜市長坂町夏秋918-5

- ・法人本部 0551-45-9566
- ・地域看護センターあんあん 0551-30-7505
- ・定期巡回てくてく24 0551-30-7787
- ・訪問介護にこにこ 0551-30-7787

〈小淵沢地域〉 408-0044 北杜市小淵沢町10123-2

・わがままハウス山吹 0551-45-6323

〈白州地域〉 408-0315 山梨県北杜市白州町白須1023

・グループホームわいわい白州 0551-30-7566

〈オレンジ館(長坂上条)〉

・リハ特化半日デイルンルン 0551-30-9251

・オレンジサロン長坂・白州